

法制審議会刑事法（性犯罪関係）部会 第1回会議配布資料	4
--------------------------------	---

## 平成29年刑法改正後の規定の施行状況についての調査結果

## 平成29年刑法改正後の規定の施行状況についての調査結果

※ 1-1表から3-5表までは、平成29年7月13日から令和2年12月31日までの間に各地方検察庁から受けた報告に基づく件数。

※ 検察統計と1-1表から3-5表までの調査とでは、必ずしも集計方法が一致していない(前者は、併合罪関係にあるものについて、最も重い罪名で人員の計上をしているが、1-1表から3-5表までの調査では、改正後の規定が適用された事例をできる限り捕捉するため、重い罪名によることとはしていないなど)ことから、件数にも一致しない部分がある。

1-1表 強制性交等罪(準強制性交等罪を含む。各罪の未遂罪及び致死傷罪を含む。)で、公訴事実において、肛門性交のみ、口腔性交のみ、あるいは肛門性交及び口腔性交のみを実行行為とする事件の起訴人員・件数

実行行為	人員	件数
肛門性交のみ、口腔性交のみ、 肛門性交及び口腔性交のみ	185名	198件

1-2表 1-1表の起訴人員の罪名・態様別人員及び裁判結果

罪名	起訴	態様		有罪	無罪
強制性交等	159名	肛門性交	7名	7名	0名
		口腔性交	152名	152名	0名
準強制性交等	18名	肛門性交	0名	0名	0名
		口腔性交	18名	18名	0名
強制性交等致死傷, 準強制性交等致死傷	11名	肛門性交	0名	0名	0名
		口腔性交	11名	10名	1名
合計	188名	肛門性交	7名	7名	0名
		口腔性交	181名	180名	1名

(注1)異なる態様の事実を併合罪として起訴している被告人については、各態様欄でそれぞれ1名として計上しているため、合計数は1-1表の人員数と一致しない。

(注2)裁判結果は一審判決であり、上訴中のものを含む。

1-3表 1-1表の起訴人員の罪名別量刑分布

罪名	判決種別	刑期										
		1年以上	2年以上	3年以上	4年以上	5年以上	6年以上	7年以上	8年以上	9年以上	10年以上	11年以上
強制性交等	実刑	0名	2名	15名	25名	41名	18名	9名	4名	7名	7名	7名
	全部執行猶予	0名	0名	22名								
準強制性交等	実刑	0名	0名	5名	4名	3名	1名	1名	0名	0名	0名	1名
	全部執行猶予	0名	0名	3名								
強制性交等致死傷, 準強制性交等致死傷	実刑	0名	0名	1名	0名	2名	2名	1名	0名	1名	1名	1名
	全部執行猶予	0名	0名	1名								

(注)上記罪名の事実のほか、併合罪がある判決も含む(罪名欄記載の罪名のうち、2つ以上の罪名で起訴した事件は、それぞれの罪名で1名として計上)。不定期刑の判決は下限の刑期を計上。

(参考)最高裁判所提供統計による量刑分布

罪名	判決種別	刑期										
		1年以下	2年以下	3年以下	5年以下	7年以下	10年以下	15年以下	20年以下	25年以下	30年以下	無期懲役
強制性交等 準強制性交等	実刑	0名	2名	45名	252名	122名	58名	12名	3名	2名	0名	0名
	全部執行猶予	0名	0名	129名								
強制性交等致死傷, 準強制性交等致死傷	実刑	0名	0名	6名	17名	28名	32名	15名	2名	1名	0名	0名
	全部執行猶予	0名	0名	6名								

(注)最高裁統計の集計方法は以下のとおりであり、必ずしも本調査とは一致しておらず、人員数についても必ずしも一致することとなるものではない。

- 平成29年7月13日から令和2年12月31日までの間に地方裁判所で終局した刑事通常第一審事件を計上している。
- 実人員である。なお、実人員とは、同一被告人について複数の起訴があっても、弁論終結時において弁論が併合されている限り1人として計上したものをいう。
- 罪名は処断罪である。
- 不定期刑の言渡しのあったものについては、長期によって計上した。
- 強制性交等致死傷、準強制性交等致死傷罪の実刑・刑期3年以下の6名には一部執行猶予の人員1名を含む。

2-1表 1-1表の罪名のうち、被害者が男性である事件の起訴人員・件数

実行行為	人員	件数
性交, 肛門性交又は口腔性交	37名	39件

2-2表 2-1表の起訴人員の罪名・態様別人員及び裁判結果

罪名	起訴	態様		有罪	無罪
強制性交等	31名	性交	1名	31名	0名
		肛門性交	3名		
		口腔性交	27名		
準強制性交等	9名	性交	0名	9名	0名
		肛門性交	0名		
		口腔性交	9名		
強制性交等致死傷, 準強制性交等致死傷	0名	性交	0名	0名	0名
		肛門性交	0名		
		口腔性交	0名		
合計	40名	性交	1名	40名	0名
		肛門性交	3名		
		口腔性交	36名		

(注1)1-2表の(注1)に同じ。  
(注2)1-2表の(注2)に同じ。

3-1表 監護者わいせつ罪・監護者性交等罪(各罪の未遂罪及び致死傷罪を含む。)の起訴人員・件数

罪名	人員	件数
監護者わいせつ	107名	117件
監護者性交等	173名	207件

3-2表 3-1表の罪名の事件の処理状況

罪名	処理区分				
	起訴			不起訴	
監護者わいせつ	107名			71名	
	裁判結果	有罪	70名	起訴猶予	32名
		無罪	2名	嫌疑不十分	39名
監護者性交等	173名			47名	
	裁判結果	有罪	118名	起訴猶予	17名
		無罪	3名	嫌疑不十分	27名
監護者わいせつ 致死傷	0名			0名	
	裁判結果	有罪	0名	起訴猶予	0名
		無罪	0名	嫌疑不十分	0名
監護者性交等 致死傷	0名			0名	
	裁判結果	有罪	0名	起訴猶予	0名
		無罪	0名	嫌疑不十分	0名
合計	280名			118名	
	裁判結果	有罪	188名	起訴猶予	49名
		無罪	5名	嫌疑不十分	66名

(注1)「起訴」の数は、追起訴がある場合は本起訴とあわせて1名として計上。

現在公判係属中のもも含まれることから、判決結果(有罪・無罪)の数とは一致しない。

(注2)1-2表の(注2)に同じ。

(注3)「無罪」は、いずれも、罪名欄記載の罪名で公判請求され、同罪について無罪となったもの(他の罪名で有罪となったものを含む。)をいう。

(注4)「不起訴」の数は、「起訴猶予」、「嫌疑不十分」以外の裁定主文により処分したものも含まれることから、それらの合計の数とは一致しない。

3-3表 3-1表の罪名の事件の被害者の年齢

罪名		年齢					
		13歳未満	13歳	14歳	15歳	16歳	17歳
起訴	監護者わいせつ	4名	32名	20名	25名	14名	14名
	監護者性交等	4名	33名	43名	35名	38名	26名
	監護者わいせつ 致死傷	0名	0名	0名	0名	0名	0名
	監護者性交等 致死傷	0名	0名	0名	0名	0名	0名
	合計	8名	65名	63名	60名	52名	40名
不起訴	監護者わいせつ	9名	14名	17名	9名	15名	6名
	監護者性交等	4名	12名	7名	5名	7名	10名
	監護者わいせつ 致死傷	0名	0名	0名	0名	0名	0名
	監護者性交等 致死傷	0名	0名	0名	0名	0名	0名
	合計	13名	26名	24名	14名	22名	16名

(注1) 数値は、被害者の人数を計上(同一被告人からの被害事実が複数あっても1名として計上。但し、同一被害者に係る事実の処分が複数罪名又は起訴・不起訴両方ある場合はそれぞれ1名として計上。)  
(注2) 犯行日が具体的に特定されなかったために被害者の年齢が特定されなかった場合や被害が複数にわたっており、被害当時の年齢が事実毎に異なる場合はそのうち最も若い年齢として計上。

3-4表 3-1表の罪名の事件の被害者から見た被疑者・被告人の立場

罪名		立場					
		実親	養親	親の配偶者	親と内縁関係にある者	その他の親族	その他
起訴	監護者わいせつ	41名	40名	11名	13名	1名	1名
	監護者性交等	62名	72名	15名	21名	1名	2名
	監護者わいせつ 致死傷	0名	0名	0名	0名	0名	0名
	監護者性交等 致死傷	0名	0名	0名	0名	0名	0名
	合計	103名	112名	26名	34名	2名	3名
不起訴	監護者わいせつ	30名	19名	8名	9名	4名	2名
	監護者性交等	16名	12名	7名	11名	0名	1名
	監護者わいせつ 致死傷	0名	0名	0名	0名	0名	0名
	監護者性交等 致死傷	0名	0名	0名	0名	0名	0名
	合計	46名	31名	15名	20名	4名	3名

(注1) 3-3表の(注1)に同じ。  
(注2) 「その他の親族」の主な内訳…祖父(監護者わいせつ), おじ(監護者性交等)  
(注3) 「その他」の主な内訳…親の交際相手

3-5表 3-1表の起訴人員の罪名別量刑分布

罪名	判決種別	刑期										
		1年以上	2年以上	3年以上	4年以上	5年以上	6年以上	7年以上	8年以上	9年以上	10年以上	11年以上
監護者わいせつ	実刑	4名	16名	9名	4名	1名	4名	1名	0名	1名	0名	1名
	全部執行猶予	0名	9名	22名								
監護者性交等	実刑	0名	0名	1名	10名	29名	46名	17名	5名	8名	2名	4名
	全部執行猶予	0名	0名	0名								
監護者わいせつ致死傷, 監護者性交等致死傷	実刑	0名	0名									
	全部執行猶予	0名	0名	0名								

(注1) 1-3表の(注)に同じ。

(注2) 実刑人員数について、一部執行猶予付を含む。

4-1表 強制わいせつ罪及び準強制わいせつ罪の年次別起訴人員・不起訴人員

年次	起訴人員	不起訴人員(不起訴に占める割合)				合計
		起訴猶予	嫌疑不十分	親告罪の告訴の 欠如・無効・取消し	その他	
H26	1325名	129名 (8.02%)	420名 (26.10%)	980名 (60.91%)	80名 (4.97%)	1609名
H27	1281名	115名 (6.62%)	412名 (23.73%)	1056名 (60.83%)	153名 (8.81%)	1736名
H28	1191名	164名 (8.76%)	461名 (24.61%)	1132名 (60.44%)	116名 (6.19%)	1873名
H29	1197名	664名 (32.55%)	690名 (33.82%)	552名 (27.06%)	134名 (6.57%)	2040名
H30	1143名	1155名 (49.46%)	902名 (38.63%)	1名 (0.04%)	277名 (11.86%)	2335名
H31・R1	1162名	1113名 (45.99%)	1050名 (43.39%)	2名 (0.08%)	255名 (10.54%)	2420名
R2	1090名	1057名 (47.08%)	927名 (41.29%)	2名 (0.09%)	259名 (11.54%)	2245名

(注1) 数値は検察統計年報による(1-1表から3-5表までの調査と異なり、より重い罪の併合罪がある場合は人員数に計上されない。)

(注2) 平成29年刑法一部改正法施行(平成29年7月13日)後は、同法施行前の行為についても原則として非親告罪として取り扱うこととされている。

(注3) 事件の処理が既済となった時の被疑者の罪名により調査したものである。

(注4) 「不起訴に占める割合」は、「(不起訴理由別の人員) / (不起訴の合計人員) × 100」の計算式で得た百分比(小数点以下2桁まで表示)。

(注5) 「親告罪の告訴の欠如・無効・取消し」とは、親告罪又は告発若しくは請求を待って論ずべき罪について、告訴、告発又は請求がなかったとき、無効であったとき、又は取り消されたときにする処分をいう。

(注6) 「その他」には、罪とならず、嫌疑なし、刑事未成年、時効完成等が含まれる。

4-2表 強姦性交等罪及び準強姦性交等罪(平成29年刑法一部改正前の強姦罪及び準強姦罪も含む)の年次別起訴人員・不起訴人員(注2, 3)

年次	起訴人員	不起訴人員(不起訴に占める割合)				合計
		起訴猶予	嫌疑不十分	親告罪の告訴の 欠如・無効・取消し	その他	
H26	323名	9名 (1.83%)	183名 (37.27%)	205名 (41.75%)	94名 (19.14%)	491名
H27	323名	12名 (1.88%)	255名 (39.91%)	253名 (39.59%)	119名 (18.62%)	639名
H28	277名	12名 (2.46%)	222名 (45.49%)	214名 (43.85%)	40名 (8.20%)	488名
H29	261名	74名 (13.99%)	323名 (61.06%)	105名 (19.85%)	27名 (5.10%)	529名
H30	372名	186名 (29.62%)	424名 (67.52%)	1名 (0.16%)	17名 (2.71%)	628名
H31・R1	344名	197名 (27.36%)	504名 (70.00%)	0名 (0.00%)	19名 (2.64%)	720名
R2	363名	170名 (25.76%)	472名 (71.52%)	0名 (0.00%)	18名 (2.73%)	660名

(注) 4-1表の(注1)から(注6)までに同じ。